



## 大きな感謝！ 充実の2年間を振り返って

茨城県行政書士会  
会長 國井 豊

会員の皆さん、こんにちは！

日頃から制度推進、会運営への力強いご理解ご協力を賜り、深謝いたしております。

おかげさまで、現在の執行体制も無事その任期を終えることとなりそうです。振り返ってみれば、あれもこれもと思いを巡らした試行錯誤の連続でした。皆さんにどれだけ満足していただけたか、つねに自問自答の二年間です。総会でお約束した様々な施策については、それぞれ展開いたしました。特に数値化出来ないものや客観化しにくい部分は、制度の根幹を成すものであり、長期的にみる必要性がありそうです。いずれにしても、すべてに対し一つひとつ丁寧な検証のもと、しっかりと総括し、次期に引き継いでまいりたいと思います。

国民の声によって誕生した行政書士制度は、時代と共に進化し、国民に寄り添うことで、社会の期待に大きく応えてまいりました。しかしその道のりは、決して順風満帆とはいえません。代書屋と揶揄され、地位向上を至上命題とした時代にはじまり、規制改革や司法制度改革等々、制度の根幹を揺るがすような、大きな荒波に揉まれ、その都度克服してきた歴史を有するのです。多くの先達による制度理念に沿った縦横無尽な運動、全国それぞれの地域における、一人ひとりの行政書士による地道な活動の結集、そしてなにより、国民からの期待と信頼の蓄積こそが、すべてに打ち勝つ、力の源泉となったのです。

これから先、既成概念、固定観念、経験則が通用しにくい時代といわれています。これまでになく、新しい課題もみられることで

しょう。大胆な規制改革や士業制度改革により、時代の変化に合わせた、大きな変革を求められるかもしれません。先人が歩んだように、制度の原点を忘れることなく歩むことで、必ず難局を乗り越えられるはずです。

茨城県行政書士会が、制度の中核を担い、全国に先駆けた先進的な取り組みを進める組織へと飛躍することが、制度の充実発展に大きく貢献するものと信じ、攻めの姿勢で臨んでまいりたいと考えております。

ところで近年、行政書士試験の受験者数が、減少の一途を辿っています。茨城県の会場も例外ではなく、ピーク時に比し50%近い激減です。資格の優位性や生業としての魅力が薄れていることなど、様々な要因が推察されますが、ことはそれほど単純でないはずです。加えて、士業全体に波及している現状をみれば、資格制度を再考する大きな契機といえます。適正な士業人口のあり方等々、明確な未来ビジョンを掲げ、早急に対応する必要性がありそうです。

一方で、受験者数の減少に直接関連するかどうかは別として、昨年度本会への入会者数が、見込みより相当数減りました。このことは、厳しい財政運営を強いられ、新年度予算編成にも影響を及ぼしました。健全財政確立が急務です。効率性を追求しつつ、最大限の効果が得られる、「運営」から「経営的業務執行」への変革を、次期に引き継ぎます。

皆さんのご健康ご活躍をお祈りし、2年間のお礼のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。